



キリスト福音教会新年聖会 (滋賀県・栗東芸術文化会館さくら)



献身の証

伊勢原聖書キリスト教会牧師 藤原正臣

私は1964年の高校2年生の時の正月に「希望」という本を読んで救われました。その時真つ先に思ったことは、このすばらしい福音を伝えるために将来牧師になりたいということでした。その年の12月に塩山純福音教会でイブレット先生から水のバプテスマを受けました。私が主に約束したことは「聖霊のバプテスマを受けたなら献身します。」ということでした。

時がたち1968年の御殿場における夏季聖会の朝の祈り会の時、あるかたが異言を語り、それを当時の御殿場純福音教会の山本嘉治牧師が解き明かしてくださいました。その内容は「友よ。今日わたしはあなたに、一つのことをします。あなたは恐れないで福音を語りなさい。」でした。そして、午前と午後の集会が続きましたが、何も起こりませんでした。私は主に期待しながら夜の集会にのぞみました。

その夜の集会でゲストの有賀喜一先生が言いました。「私は明日このメッセージをしようと思いましたが、主は今夜それを話さない」と迫

られたので話します。」そして最後に「この中に献身しようとしている者がいます。その人は今前に出てきてください。」と招きがなされました。私はその招きに応じて前に出ていきひざまづいて祈り始めました。すると、どなたかが異言を語り、それを、朝の時と同じように山本先生が解き明かされました。「友よ。わたしが今朝言ったのはこのことだったのです。行きなさい。わたしはあなたに聖霊を与えます。」私はこれを自分に対する主からのメッセージであると確信しました。

その9月、イブレット宣教師が私を昼食に招いてくださり、その時KBIのバイブルコースのことを紹介してください、そこに行かないかと勧められました。すでに私の心の準備はできていましたから、行く決心をしました。勤めていた会社を辞め、10月1日から始まるバイブルコースに参加しました。そして10月18日の朝のロングプレイヤーの時に、異言を伴う聖霊のバプテスマを受けたのです。

ベトナムの宣教 ③

吉田 隆



「どこの料理がお好きですか？」と尋ねられることがあります。「はい、どこの料理も好きですが、もし一つと言われれば、ベトナム料理が美味しいと思います」とお答えします。ベトナムには生春巻きなど素敵な料理があります。

12か月間フランスに滞在したことがあります。ベトナムとフランスは、かつてベトナムがフランスの植民地であったために、強い結びつきがあります。フランスで中華料理の看板を掲げている食堂の多くはベトナム人が経営する“フォー”などを出す店です。

さて、ベトナムが共産化した後、舟で脱出し難民とな

った人々を香港が受け入れました。1979年のことです。その数約20万人と言われます。彼らは香港で、ボート難民の居住地区に約20年間住んでいました。それは、私たちの家族が香港に居住していた時と重なります。そこに居た人々に、香港の教会は福音を宣べ伝えました。救われた人々の中から、特に以前の北ベトナム地域に帰って行き、家の教会のリーダーとなった人々がいます。

なぜ香港とベトナム難民の関係をお話したかという、日本の隣国である北朝鮮が崩壊した場合（非常に近い将来に崩壊するであろうことは時事評論家も賛同するところ）、日本に来る北鮮難民の数が4万人以上になるであろうと予測されています。果たして日本は、彼らを受け入れることができるでしょうか？日本の教会は、国を失った人々に伝道する備えがあるでしょうか？ベトナムの地下教会については前回も述べましたが、イエスを信じ、迫害されている人々は、非常に飢え渴いています。メッセージが終わった後に個人的にお祈りをします。家の教会ですので、集っている人の人数は恐らく30人位だったと思われるのですが、祈っても、祈っても終わらないのです。よく見ると、祈り終えた人はまた最後列に行き、再び祈ってもらうのを待っているのです。それほど熱心に彼らは聖霊様に満たされることを求めているのです。

被災地報告

2011年3月11日 東日本大震災
宮城県気仙沼市のその後

2011年から気仙沼ホープセンターで活動してこられた風間哲也先生の電話インタビューを要約させて頂きました。

風間師は震災の起きた2011年から気仙沼で震災支援活動をしてきました。宮城県は2019年7月31日をもって仮設住宅の支援を終了し、現在、災害復興住宅に移るよう政策がシフトしています。一部の仮設住宅は継続していますが、高齢の方や身寄りのない方、自活できない方が入っておられるのが現状です。

町全体は震災以前の道路や街並みに戻ってきています。しかし、水産業の低迷もあり、6万人いる町の人口も10年後には3万人になるだろうと言われています。一因としてはサンマが日本近海に来る前に、中国の大型魚船が大量に捕獲してしまうからだと言われています。

気仙沼の町並は以前のような外観を取り戻してはいま

すが、震災を経験した人々の心はいまだ癒えていないのが現実です。3.11の日が近づいて来るとTVの特別番組で当時の様子の映像が流れ、それを見た方々がフラッシュバック現象で心が鬱的になります。また、冬の寒さからくる冬季型鬱も重なり、この時期の自殺者が増えています。行政では心の内面のケアはできません。彼らに寄り添ってくれる人が必要とのことでした。

風間師はお母さんのケアのため、実家の栃木に引っ越しを余儀なくされ、気仙沼ホープセンターを閉鎖しました。今は、気仙沼ホープセンターの近くの歯医者さん宅にて月に一度家庭集会を開き、ラジオ放送で聖書のお話と歌を宮城県の方々に届けておられます。

以前のようにはいきませんが、気仙沼でボランティアを希望される場合は連絡をくださればお手伝いをすることができるそうです。（ボランティア希望の方は御殿場純福音キリスト教会まで連絡をお願いいたします。）3月19日気仙沼で小坂忠さん、神山みささんのライブコンサートが開かれる予定です。

記：中見 透

信仰継承 ～子育て奮闘記～ 山科キリスト福音教会 レフトサーリ サミベッカ神之助&麻衣

箴言 14:27 「主を恐れることはいのちの泉、死のわなからのがれさせる。」



ハレルヤ！主の御名を賛美いたします。信仰継承、またクリスチャンの子育てといった非常に大きなテーマについて、はたしてこのような小さな私たちに

どのようなあかしできるのか……少しの不安はありますが、主イエス様であって、子どもを授かった親として心がけていることをお分かちさせていただきます。それによってどなたかの励ましや助けになればうれしいです。

私も妻もクリスチャンホームで育ちました。キリスト信仰については特に二つのことを教わり、親の背を見て学んだと思っています。一つは「日曜礼拝を守ること」、もう一つは、毎日聖書を読んでお祈りする（デボーション・礼拝）をして、「イエス様との生きた交わりを持つ」ことです。

日曜礼拝について言えば、それを守り続けることには大きな戦いがあることを、みなさんは十分に知っておられるでしょう。独身だった時でも大変だったのに、ましてや家族や子どもと一緒に日曜礼拝を守るために教会に通い続けること……これには、神様の恵みがなければ決してやり続けることが出来ない戦いがあります。しかし、戦いの中にも祝福があるのです。主に期待して、主を信じて、同じような信仰を告白する神の家族に祈ってもらいながら……日曜礼拝を守り続けると、人生の意味を見失うことなく、目的をもった一生を神様にささげることができると信じています。



私と妻が仕えている教会は自宅

から車で約30分の距離にあります。そして、日曜日の朝には大きな戦いがあることが少なくありません。長男は高校1年生になり、次男は中学一年生になりました。二人とも部活を頑張っていますが、特に長男は最近、「日曜日くらい休みたい」と愚痴をこぼすようになりました。彼がまだ小さかった時には、アイスやおもちゃで「つれば」簡単に従ってくれたのに……幸いにも二人が選んでいる部活は基本的に日曜日が休みです。ですが、大会がある場合、日曜日に行われることが多いのです。そこで、「大会がある

場合、月一回だったら朝の礼拝は休んでも良い」こと、そして「月2回以上の休みになる場合、日曜日の夕方に礼拝しているところで一緒に教会の礼拝を守る」との約束を交わしています。「日曜礼拝を守ること」。自分の子どもとはいえ、一人の人格を持っているのです。信仰は強制させることはできません。ましてや思春期になると、親の価値観に挑戦したくなる時だってあります。しかし、親が大切にしている「信仰の価値観」については、遠慮なく教える必要があると思います。そして時々、価値観の対立による衝突を覚悟する必要もあります。

私たちが大切にしているもう一つ

のことは家でのデボーションの時間です。長男たちがまだ小学生だったときは、朝、学校に行く前に一緒にしていました。その際、参考になった良い本が「聖書絵物語」（ケネス・テイラー著）という本でした。この本に記されている聖句から、一章分を一節ずつ交互に読みます。そして、物語の部分を読んであげるか、誰かに読んでもらって、話の最後に含まれている質問について一緒に考えます。デボーションの最後に一人ずつお祈りして終わります。約15分程度、平日の朝に家庭礼拝・デボーションをしました。時間に余裕のある時は、最初に賛美をしていたこともありました。成功や敗北はその日によって大きく変わりましたが……振り返ってみれば朝ごとの家族礼拝は今では良い思い出です。

私たちの子どもたちはそれぞれ年齢が離れています。中高生となった長男と次男は自分たちで聖書を読み、ユース向けのデボーションブックを用いて、毎日の聖書と祈りの時間をもつように心がけています。娘は小学校5年生で、学校へ行くまえに、自分で聖書絵物語を開いて、聖書を読んで祈っています。そして、三男は5歳です。朝にデボーションの時間をもつことが難しいので、平日に、寝る前に聖書の絵本を読み、一緒にお祈りするように心がけています。疲れ果てて気づいたら一緒に寝ていることも少なくありませんが……

私たちは不完全な者ですが、神様は完全な者を用いてくださる方ではありません。欠けだらけ、傷だらけ、わがまま……神様によって直していただく必要はたくさんあります。しかし、イエス様を第一にする人生こそ有意義な人生だと信じています。教会でも家庭でも信仰者としての背中を子どもたちに見せていけるよう、そして子どもたちが神様を畏れて育っていくことを心から願っています。



あかし

結実の喜び

町田純福音教会 田後まり子

私たち家族は長女が小学校入学を控えた37年前、夫の転勤で広島に引っ越しました。知人が一人もいない中、まさにアブラハムの「行くところを知らずして」の心境でした。しかし、神様は私たち家族を祝福してくださり、広島市にあるアッセンブリー広島キリスト教会へと導いてくださいました。日を追うごとにお友達が与えられ、福音をかたらずにはいられない毎日でした。

しかし、どんな伝道をして教会との距離があまりにも遠いため、少しでも教会の近いところに家が与えられることを祈っていました。すると神様はすぐに祈りに応えてくださり、当時教会のなかった大野町に家が与えられ、そして家庭集会を始めることができました。ご近所の方々を始め、大竹市からもお友達が導かれ8年間で3組のご夫婦と3人の兄弟姉妹が受洗しました。聖歌隊の結成、ギリシャ語での聖書の学び、祈り会と家庭集会とは思えない祝福の時を過ごしました。

そんな中、突然神様から戻るよう導かれ、心の整理がつかないまま信仰の友にすべてをお願いし、東京に戻って参りました。この時のことはいつも心の中で棘となり刺さっていましたが、つい先日その信仰の友からかかって来た一本の電話により、その棘は一瞬にして取り除かれ、感謝と喜びに変えられました。

「あなたの蒔いた種が大きく成長し、大野町に教会が建つのですよ。3月が献堂式です。」神様はなんと素晴らしいお方でしょう。広島を去る時、「あなたの蒔いた種を刈り取っていきなさい。」と言われたことが昨日のこのように思い起こされ、それを忘れたことがありません。すべてを益としてくださる神様は私から重荷を取り除き、平安をくださいました。主に感謝致します。



みことばと感謝

甲西キリスト福音教会 城崎哲朗

私が2回目に東京へ赴任した時、職場の一人が腰部の悪性癌であと何か月か分からない状態でした。彼に対して私は何もできず精神的に苦しんでいた時、家内から聖書が送られてきました。結婚してから初めての贈り物でした。甲西市で福音を伝えていたイカライネン師に英語を学んでいた関係で、今一番信頼できるものということでした。反発しながら生まれて初めて聖書を読み出し、近くのアッセンブリーの中央聖書教会に行くようになり、水曜日の祈禱会、金曜日の伝道会、日曜礼拝に出席しました。神学生が30人位いましたが、滋賀出身の神学生が私に「人は何のために生まれ、何のために生き、何のために死ぬのか」聖書を通して教えてくださり、ピリピ2章3節の「何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい」という御言葉によって救われ、1984年12月に洗礼を受けました。

まもなく大阪に戻り経理関係の仕事で多忙な毎日でしたが、今までと違い全ての事に感謝しながら職務ができ心に平安がありました。転勤後、甲西キリスト福音教会でイカライネン師から松本牧師になり、今は水曜日オープン教会、日曜礼拝に出席でき、御言葉を学ぶことが一番の幸せです。病はいろいろ経験しましたが、すべて助けられ感謝しかないと考えています。救われて36年、今年88才になりますが、今証しできるのは聖書（御言葉）に基づいて全ての事に感謝しながら日々生きていくことだと思っています。私たちには「聖書－御言葉」があり、神がいつもともにおられることを確信し、救われた喜びの笑顔で前向きに過ごしたいと思っています。感謝。



■ 加越シオン会 70 周年記念集会（デンマークからの宣教 70 周年） 〈FCMF〉



デンマーク人宣教師、故アンナ・ブルーンと故ヘレン・リース師が今から約 70 年前に中国宣教を迫られ日本宣教に方向転換、そして神戸港に上陸。当時福井地震で被災した福井県にやってきました。それから約 70 年後、2019 年 9 月 29 日（日）に加越シオン会（ホープハウス・小松ベタニヤ福音・南部キリスト・金津・丸岡福音キリストの 5 教会）の宣教 70 周年記念集会が開かれました。デンマークよりメインゲストのダン・ヤコブセン師や日本宣教に長年携わってくださったソーレンセン師（アンナ・ブルーン師従姉妹）、イエスパーセン師家族（前金津福音キリスト教会

宣教師）などが来てくださり、他に 5 つの教会の出身者の方で、岡部和香兄（神戸フィラデルフィア教会長老）や吉田昭子師（堺福音教会犬山チャペル牧師）などをお迎えしました。和やかに、楽しい交わりが 3 時間近く行われました。（菅原純次）



TPKF イースト新年聖会 中澤イサク師

■ 新年聖会 〈イースト〉

1 月 13 日成人の日に御殿場純福音キリスト教会にて新年聖会を持ちました。

以前は 1 月 2 日に持っていましたが、スケジュール的に忙しいということで、数年前から成人の日の月曜日に持つようになりました。今年のゲストスピーカーには飯能キリスト教会牧師の中澤イサク先生をお迎えしました。道子夫人、そして数人の教会メンバーの方々とともに来てくださいました。宣教師の息子としてペルーでの学生時代を経験され、お父様の中澤宣教師の姿を見てこられた中で、イエス様に出会った証、聖霊のバプテスマを受けた証などを交えてみことばを語ってくださいました。そして、同じペンテコステ信仰を持って歩んでいる私たちに、聖霊を受けなさいと励まし、メッセージの後に聖霊を受けるようにミニストリーの時を持ってくださいました。一人ひとりが励まされた時となりました。（芳三容子）

■ 新年聖会 〈キリスト福音〉

1 月 13 日（祝）キリスト福音教会新年聖会が、栗東芸術文化会館さきらにて開かれた。テーマは「家庭の祝福の約束をつかめ～リバイバルはクリスチャンホームから始まる～」。講師はジャパンベサニーミッション代表ジャン・ドウゲン師。自身が受け継がれた信仰の背景・クリスチャンホームの原則・信仰の継承について話される。「家族が信仰を持ち、クリスチャン家庭を築き進んでいる、これこそ私の喜びです。」「希望をもってほしい。」参加多数の祖父母世代には、家族が諦めても見放さなかった祖母（師のお母様）の信仰が心に残ったのでは。「親の信仰が本物とわかれば、子供たちは『私もほしい』と思うのです。」イエス様の歩みもそうだったのでは？ 私達の歩みがいつも「本物」でありますように。その他具体的な家庭でのアイデアも多数。ぜひ CD を。主に感謝します。（中原恵子）



ジャン・ドウゲン師

■ KBI 「支えられて 20 年」

「測り綱は、私の好む所に落ちた。まことに、すばらしいゆずりの地だ」詩篇 16：6

インドネシアから帰国して半年後の 2000 年 4 月に学院長を拝命し、この 3 月で満 20 年になります。これまでのお交わりとご支援、特別に校舎の移転事業では多大なご協力にあずかりました。心からお礼を申し上げます。この 20 年、学生兄姉と夢を追いかけてきました。この国の不信仰の城壁が崩れ、福音が人々に届き未伝の地に宣教の拠点が次々に広がっていくこと。また日本が宣教貢献国となり、世界の宣教の畑に器を輩出し続けることです。主にあるこの国内外の宣教前進の夢は着実に実を結んでいます。4 月の刷新人事は主によって導かれてきました。KBI はますます時代の必要に応え、主がお用いになりやすい学院として成長していくことを確信しています。感謝を込めて。（関西聖書学院 大田裕作）

教会紹介



伊勢原聖書キリスト教会 所在地：神奈川県伊勢原市伊勢原3-7-2

1980年スウェーデンからの宣教師ニルス・イブステットご夫妻が伊勢原市内沼目地区に住まいを借り、開拓伝道がスタート。1983年に現在地のビルの2階を借り教会として献堂、1984年には塩山純福音教会の伝道師であった藤原正臣家族が招聘され、現在に至っています。最近特に力を入れているのはゴスペルクワイアの働きで、藤原京子伝道師が中心となって教会が地域に広く開かれ、みことばの種がまかれています。(藤原正臣)

深草キリスト福音教会 所在地：京都市伏見区深草小久保町413

当教会はフィンランド人宣教師、ラウリ・ヘイモネン師によって開拓された教会です。1968年10月、この京都市伏見区に教会が献堂されて昨年は50年を迎え献堂50周年記念会を持ちました。当教会の今年度の標語の御言葉は「絶えず祈りなさい」(Iテサロニケ5:17)です。京都は神社仏閣の非常に多いところです。京都の人々が偶像からまことの神様に立ち返ることができるように祈っていくことが当教会の使命です。(杉山睦生)



教会情報

- 亀岡ベタニヤ教会 2019年9月 田中あかり伝道師辞職
- 美濃グレースチャーチ 2020年1月を持って岐阜純福音教会から独立し、単立美濃グレースチャーチとしてスタート

「TPKF70周年記念誌(仮称)」発刊のご案内

TPKFでは、70年間にわたる日本宣教と教会のために労してくださった多くの諸先生、諸先輩のお働きを覚え、主の成してくださったみわざを感謝し、記念として後に残すために、「TPKF70周年記念誌(仮称)」を発刊する運びとなりました。

予定価格(税込)2,200円(※追加申し込みを受付中です)

第57回 TPKF 大会 2020年5月4日(月)～6日(水)

TPKF 70周年記念大会 テーマ「Progress/ 前進」

講師：大田裕作師 (KBI 学院長)

会場：ピアザ淡海 滋賀県大津市におの浜 1-1-20

単立ペンテコステ教会フェローシップは2020年に70周年記念を迎えます。大きな恵みによって支えて下さった神様に、感謝をささげていきましょう。聖霊の油注ぎを頂き、私たちは未来に向かってますます前進していきます。

ぜひご参加ください!

置田 信也

単立ペンテコステ教会諸教会(名簿順)

北広島自由キリスト教会 / 平川キリスト福音教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会
 横浜フィラデルフィヤ教会 / 磯子フィラデルフィヤ教会 / 金沢フィラデルフィヤ教会 / 横須賀クリスチャンセンター
 保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル / 大和あがないの丘キリスト教会 / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会
 秦野クリスチャンセンター / 北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音センター / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会
 甲府カルバリ純福音教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会
 いのちのパンの家 / 小松ベタニヤ福音教会 / 小松南部キリスト教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会
 文教ゴスペルセンター / 松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / The Lighthouse 749 (三国町) / 武生自由キリスト教会
 グローリーチャーチ敦賀自由キリスト教会 / 金津福音キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会三方伝道所 / 高富グレースチャペル
 岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜純福音大森チャーチ / 岐阜ライフチャーチ / 美濃グレースチャーチ / 本地ガ原自由キリスト教会
 瀬戸サレム教会 / 滋賀キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会 / 大津韓国福音教会 / 大津キリスト福音教会
 田上キリスト教会(大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会 / 甲西キリスト福音教会
 雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会 / 京都キリスト福音教会
 山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会 / 大阪キリスト福音教会
 須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィヤ教会 / 南さつまキリスト福音教会

以上の教会に1部以上を送っています。私たちの願いはすべてのTPKFの信徒が一部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。tpkf.pentecost@gmail.com TPKFの公式ホームページ <http://www.tpkf.org/>

